

問 題		得点率 (%)	問 題		得点率 (%)
1	問一	72	2	問一	84
	問二	31		問二	43
	問三	50		問三	93
	問四	62		問四	45
	問五	50		問五	33
	問六	93		問六	99
	問七	86		問七	27
	問八	42		問八	24

最高点 2科受験者 83点
 4科受験者 89点
 最低点 2科受験者 21点
 4科受験者 27点

1 出典：更科功『若い読者に贈る美しい生物学講義——感動する生命のはなし』

問一は1頁上段11行目傍線1「たとえば、車を運転して会社に行くとしよう。」の具体例を出した理由としてふさわしいものを選ぶ問題です。1頁上段4行目に、「科学では、決して、一〇〇パーセント正しい結果は得られない。」とあるので、イとエは誤りです。また、この具体例は、1頁上段8行目「真理に決して到達することができないなら、科学なんかやる意味がない」という意見への反論として提示されています。よって、「最初から無駄である」と断じているウは誤りです。正解はアとなります。

問二は1頁下段38行目傍線2「科学では推測が重要だ。」の理由を、演繹の方法を用いて説明する問題です。1頁下段32行目からのイカの例より、演繹は、AはB、AはCという2つの根拠からBはCという結論を導き出す方法であると理解します。これを傍線2の文脈に当てはめると、B=科学、C=推測となるため、傍線2の理由を答えるためには、科学と推測に共通するAが必要だと判断できます。このAは1頁下段45行目「科学は、新しい情報を手に入れようとする行為」、1頁下段64行目「推測を行えば知識は広がっていく」にそれぞれ記されているため、ここを用いて記述をAはB、AはCというようにまとめます。設問に合わせて、答案の文末は「～から。」にする必要があります。科学と推測のどちらかの説明をしていなかったり、演繹の方法を用いて記述できなかったりする答案が目立ちました。

問三は1頁下段50行目傍線3『『逆・裏・対偶』を「池に濡れたなら、服が濡れているはずだ。」に当てはめたものとしてふさわしい内容を選ぶ問題です。「AならばB」を基準と

なる文脈として考えると、1 頁下段 52 行目以降より、「逆」は「BならばA」、「裏」は「AでないならばBでない」、「対偶」は「BでないならばAでない」と理解できます。よって、Aはイ、Bはウ、Cはアとなります。

問四は1 頁下段 60 行目傍線4「正しい演繹なら結論は一〇〇パーセント正しい。」、1 頁下段 63 行目傍線5「推測の結論は一〇〇パーセント正しいとはいえない。」の理由を説明する問題です。まず、演繹の結論の正しさについては、1 頁下段 41 行目「なぜなら二つの根拠が成り立っていれば、必ず結論が導かれるからだ。」で理由が説明されています。そして、これを言い換えると、1 頁下段 60 行目「結論（の情報）は、根拠（の情報）の中に含まれている」となります。演繹と推測は対極の方法であるため、演繹が「結論（の情報）は、根拠（の情報）の中に含まれている」のであれば、推測は「根拠（の情報）の中に含まれないものが、結論（の情報）となる」ということとなります。このことは1 頁下段 63 行目にも書かれており、これこそが、推測の結論の不確かさの理由です。解答では、演繹と推測それぞれの理由を、一文にまとめて記述します。設問に合わせて、答案の文末は「～から。」にする必要があります。演繹についての説明は、特によくできていました。

問五は2 頁上段 84 行目「そういう仮説」を説明する問題です。直前を読むと、2 頁上段 82 行目「たくさんの観察や実験の結果によって、何度も何度も支持されてきた仮説」とあるので、ここを用いて制限字数以内になるようにまとめます。設問に合わせて、答案の文末は「～仮説。」にする必要があります。直前部の引用はよくできており、前提となる「推測によって立てられた」という件が書けたかどうか点が点数の分かれ目となりました。

問六は空欄AからDに適切なことばを入れる問題です。Aにはイ、Bにはウ、Cにはア、Dにはエが入ります。

問七は漢字の書き取りです。楷書で丁寧に書く必要があります。特にエ「オサ」では「修」「治」などとの間違いが多く出ていました。漢字の持つ意味まで含めて、漢字を学習するといいでしょう。

問八は本文の内容に合致しているものを選ぶ問題です。1 頁上段 1 行目から始まる連続する2つの段落の内容とほぼ一致している、エが正解です。アは「複数の推測を検証し」、イは「主観的な価値」、ウは「真理と呼んでいる」がそれぞれ誤りです。

2 出典：橋本紡『空色ヒッチハイカー』

問一 「優越感」を言い換えた表現を抜き出す問題です。普段は追いつけない兄の先を行く

ことができる時の感覚をあらわす箇所を抜き出します。

問二 「どこで失敗してしまったんだろう……」の「失敗」の原因を説明する問題です。「失敗」の内容は、転んで頭を打ち怪我をしたことですので、怪我の原因を考えます。「僕」は幼さゆえに正しく判断することができず、兄の配慮に気づくことなく、調子に乗って自分の限界を超え兄を追い越そうとしたことを記述します。

問三 慣用句の問題です。

問四 「怖いね、お兄ちゃん」における心情を説明する問題です。二人が立ち止まった場面で「自然の巨大さと、それに対して人間がいかに弱々しい存在であるかをつきつけられ、不安や恐怖を抱いている」とわかります。また、傍線部直前の部分から「長い年月を生き抜いてきた自然に対する畏怖や畏敬のような感情」を抱いていることもうかがえます。2点をまとめて記述します。

問五 本文中における「僕」の心境の変化を問う問題です。自分の力を過信してうぬぼれる気持ちから、「僕」のけがと、兄の冷静な対応を通して兄を心から尊敬して憧れるようになったことを記述します。

問六 副詞を選択する問題です。

問七 兄の人物像を選ぶ問題です。兄は、常に弟を気にかけてながら行動し、弟の怪我にも即座に対応し、その場に応じて適切な行動をとっています。ただ、自然に対して抱いた恐怖を弟に悟られてしまう隙もあります。アは「冷静な少年」が誤りで、ウは「僕」が兄を目標にしたのは両親の代わりであるという表現が本文からは読み取れず、エは「危険を冒すこともいとわない」が誤りとなります。

問八 本文に合致しているものを選ぶ問題です。イは「今の『僕』が目標とする兄の姿へ未だ及んでいないことを暗示している」という部分が本文から読み取れないため誤りです。ウは選択肢中の「ため」が本文の因果関係と食い違うため誤りです。エは「『僕』と兄の結びつきが著しく変化する」が誤りです。